

2020年度 京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR） 京都市左京区における 「伝統行事に関するアンケート調査 （新型コロナへの対応）」結果の報告

はじめに

京都では、地蔵盆をはじめとした地域の伝統行事が行われています。それらの行事が行われる地域コミュニティは、近世の村や町組、あるいは神社の氏子の地域など、伝統歴史的・伝統的な人々のまとまりであり、伝統行事は地域のまとまりの象徴であるだけでなく、住民の親睦の機会や、地域コミュニティを維持する役割の一部を担ってきました¹。しかし、社会構造や住民の意識の変化、人口減少に伴う担い手不足や、伝統行事に使う原材料の調達の難しさから存続が難しくなっています。

京都府立大学が位置する京都市左京区は、大阪市と同じぐらいの面積である247平方キロメートルという広大な区域で、北部の山間地域から南部の市街地まで、豊かな文化や歴史、美しい自然環境を守りながら歴史を重ねてきた地域です。各地域には、そうした歴史に基づく数多くの伝統行事が行われています。国の重要無形民俗文化財である久多花笠踊をはじめ、25件の無形民俗文化財などが集中しています。とりわけ、左京区北部山間地域（久多・花脊／別所・広河原）は、豊かな自然が育んだ地域で、独特の歴史・文化が発展した地域であり、集落や地域コミュニティの核として、伝統行事が生活と一体となって執り行われてきています。

しかしながら、2020年から2021年にかけての新型コロナウイルスの感染拡大は、伝統行事の開催に大きな影響を与えています。そこで、京都府立大学京都地域未来創造センターでは、こうした状況を把握するために、2020年度に京都市左京区役所及び京都市文化財保護課の協力を得て、左京区内の無形民俗文化財の保存会等（24件）の皆様を対象に、新型コロナウイルスの伝統行事への影響および伝統行事の現状に関するアンケート調査を実施しました。

2021年7月から8月にかけては、伝統行事の保存会等の皆様（7件）から直接、お話をうかがい、2年続けての開催の判断に苦慮される声もお聞きしました。その背景には、一度、中止や延期の判断をした場合、伝統行事の技術の継承や原材料の調達が途絶えてしまい再開が難しくなるという伝統行事に固有の事情もうかがえます。

アンケートへの回答および聞き取りにご協力くださった皆様に感謝を申し上げますとともに、アンケート調査の結果について報告いたします。当該調査の結果が今後の伝統行事と地域づくりのあり方を考えるうえでの一助になれば幸いです。

京都府立大学京都地域未来創造センター
上杉和央（文学部歴史学科准教授）
鈴木暁子（コーディネーター・上席研究員）

1 京都市左京区における伝統行事に関するアンケート調査の概要

1-1 調査概要

【調査対象者】

左京区内の京都市指定・登録文化財（無形民俗文化財）の保存会等 25 件
（2020 年 11 月時点）

【調査対象となる伝統行事の開催時期】

2020 年 1 月～2021 年 1 月

【調査主体】

京都府立大学文学部歴史学科上杉研究室・京都地域未来創造センター

【実施者】

上杉 和央（文学部歴史学科准教授、京都地域未来創造センター統括マネージャー）
鈴木 暁子（京都地域未来創造センターコーディネーター・上席研究員）※本調査報告作成

【実施時期】

2020 年 12 月中旬～2021 年 1 月中旬

【実施方法】

左京区役所及び京都市文化財保護課の協力により保存会等の代表者あてに、アンケート調査票を郵送し回答を依頼した。期日までに未回答の保存会には電話にて再度依頼を行った。

【アンケート調査項目】

- ・新型コロナウイルス感染症の伝統行事に対する影響について
- ・伝統行事の継続と地域コミュニティ維持に対する考え方、認識について
- ・今後の課題
- ・保存会の概要
- ・自由回答

【有効回答数】

25 件中、23 件（2 件は統合して 1 件としてカウント）²から返答があった。

【その他】

集計にあたって、固有名詞等は伏字（黒塗り）として処理を行った。
文中の N は回答件数、NT は総件数である。

1-2 調査対象となる伝統行事の概要

本調査の対象は、左京区内の京都市指定・登録文化財（無形民俗文化財） 25 件である。

図表 1 調査対象の伝統行事一覧

	行事名	所在地	保存団体
1	久多の花笠踊	左京区久多	久多花笠踊保存会（国重要無形民俗文化財）
2	鞍馬竹伐り会	左京区鞍馬	鞍馬山竹伐り会式保存会
3	大文字送り火	左京区浄土寺	特定非営利活動法人大文字保存会
4	松ヶ崎妙法送り火	左京区松ヶ崎	公益財団法人松ヶ崎立正会
5	花脊松上げ	左京区花脊八桝町	花脊松上げ保存会
6	広河原松上げ	左京区広河原	広河原松上げ保存会
7	北白川高盛御供	左京区北白川	北白川伝統文化保存会
8	鞍馬火祭	左京区鞍馬	鞍馬火祭保存会
9	松ヶ崎題目踊・さし踊	左京区松ヶ崎	公益財団法人松ヶ崎立正会
10	鉄仙流白川踊	左京区北白川	北白川伝統文化保存会
11	修学院大日踊・紅葉音頭	左京区修学院	修学院紅葉音頭保存会
12	大原八朔踊	左京区大原	大原伝統文化保存会
13	八瀬赦免地踊	左京区八瀬	八瀬郷土文化保存会
14	久多宮の町松上げ	左京区久多宮の町	久多宮の町松上げ保存会
15	岩倉火祭	左京区岩倉	石座神社奉賛会
16	市原ハモハ踊・鉄扇	左京区静海市原	市原ハモハ尼講中
17	一乗寺鉄扇	左京区一乗寺	一乗寺郷土芸能保存会
18	広河原ヤッサコサイ	左京区広河原	広河原郷土芸能保存会
19	一乗寺八大神社の剣鉾差し	左京区一乗寺	一乗寺八大神社剣鉾保存会
20	上高野念仏供養踊	左京区上高野	上高野念仏供養踊保存会
21	木野愛宕神社の烏帽子着	左京区岩倉	木野愛宕神社烏帽子着保存会
22	久多山の神・お弓	左京区久多	久多の山の神・お弓保存会
23	大原上野町おこない・お弓	左京区大原上野町	大原上野町おこない・お弓保存会
24	真如堂の十夜鉦	左京区浄土寺真如町	真如堂十夜鉦講
25	吉田木瓜大明神の剣鉾差し	左京区吉田	吉田剣鉾保存会

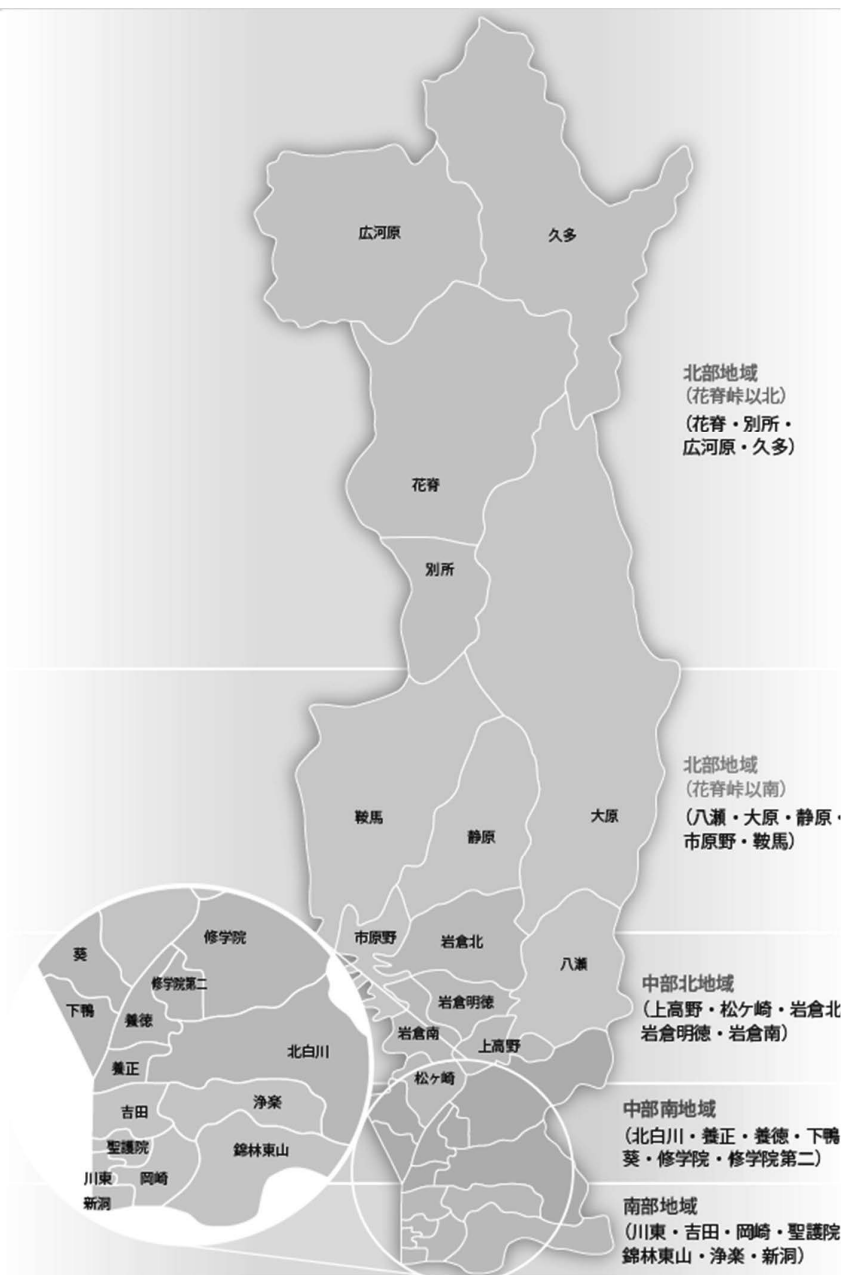
1-3 伝統行事の所在地（地域区分別）

伝統行事を実施する各地域の特性を把握するため、京都市の区分に沿って、左京区を「①北部花脊峠以北」「②北部花脊峠以南」「③中部北地域」「④中部南地域」「⑤南部地域」の5つの地域に分けた（図表2及び図表3）。

図表2 左京区の概要

出典：左京区基本計画（第3期 2021-2025）冊子

[https://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/cmsfiles/contents/0000057/57075/keikaku\(2ki\).pdf](https://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/cmsfiles/contents/0000057/57075/keikaku(2ki).pdf)



地域区別で見ると、山間地域である「①花脊峠以北」は5件となっている。また、「花脊峠以南」(6件)も合わせると、合計で11件となっている(図表3)。

本調査の対象である伝統行事(25件)の半数近く(11件)は、左京区北部の山間地域で行なわれている。

図表3 伝統行事の分布(地域区別)

	地域区分	件数	学区名	伝統行事名
①	北部 花脊峠以北	6件	久多、 花脊/別所、 広河原	久多の花笠踊 久多宮の町松上げ 久多山の神・お弓 花脊松上げ 広河原松上げ/広河原ヤッサコサイ
②	北部 花脊峠以南	6件	八瀬、大原、 静原/市原野、 鞍馬	八瀬赦免地踊 大原八朔踊 大原上野町おこない・お弓 市原ハモハ踊・鉄扇 鞍馬竹伐り会 鞍馬火祭
③	中部 北地域	5件	上高野、松ヶ崎、 岩倉北/岩倉明德 /岩倉南	上高野念仏供養踊 松ヶ崎妙法送り火 松ヶ崎題目踊・さし踊 岩倉火祭 木野愛宕神社の烏帽子着
④	中部 南地域	6件	北白川、養正、養 徳、下鴨、葵、修学 院、修学院第二	大文字送り火 北白川高盛御供 鉄仙流白川踊 修学院大日踊・紅葉音頭 一乗寺鉄扇 一乗寺八大神社の剣鉾差し
⑤	南部地域	2件	川東、吉田、岡崎、 錦林東山、浄楽、新 洞	真如堂の十夜鉦 吉田木瓜大明神の剣鉾差し
	合計	25件		

1-4 伝統行事の例年の開催月および地域の概要

図表4は例年の開催月および実施地域(学区)の概要(世帯数、人口、高齢化率等)である。伝統行事の例年の開催月は、「8月」が最も多く12件で、全体の約半数を占める。8月のお盆の時期の行事が多い。続いて、「10月」が6件、「1月」が2件、「5月」「6月」「11月」が1件となっている。

伝統行事を行う地域の概要について、「①山間地域(北部花脊峠以北)」の久多、花脊については、他の地域と比較して、世帯数、人口が少なく、高齢化率も50%を超えている。

図表4 伝統行事の開催月と実施する各地域(学区)の概要

出典：令和元年度第1回京都市次代の左京まちづくり会議(左京区役所)会議資料

「資料5 10年間の動向(統計データ整理)」を元に作成

https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/shingikai_kekka/cmsfiles/contents/0000258/258108/08.pdf

伝統行事の名称	保存会等の名称	開催月	学区	【地域区分】		面積 (Km ²)	世帯数 (H27)	人口 (H27)	高齢化率 (65歳以上 比率) H27
				①北部花脊峠以北	②北部花脊峠以南				
久多の花笠踊	久多花笠踊保存会	8月	久多	1	北部花脊峠以北	34215	41	84	51.2%
久多宮の町松上げ	久多宮の町松上げ保存会	8月	久多	1	北部花脊峠以北	34,215	41	84	51.2%
久多山の神・お弓	久多山の神・お弓保存会	1月	久多	1	北部花脊峠以北	34,215	41	84	51.2%
花脊松上げ	花脊松上げ保存会	8月	花脊	1	北部花脊峠以北	39,28	126	245	56.3%
広河原松上げ	広河原松上げ保存会	8月	広河原	1	北部花脊峠以北	26,253	41	97	39.2%
広河原ヤッコサイ	広河原郷土芸能保存会	8月	広河原	1	北部花脊峠以北	26,253	41	97	39.2%
鞍馬竹伐り会	鞍馬山竹伐り会式保存会	6月	鞍馬	2	北部花脊峠以南	24,334	212	547	41.9%
鞍馬火祭	鞍馬火祭保存会	10月	鞍馬	2	北部花脊峠以南	24,334	212	547	41.9%
八瀬赦免地踊	八瀬郷土文化保存会	10月	八瀬	2	北部花脊峠以南	9,883	817	1,819	32.9%
市原ハモハ踊・鉄扇	市原ハモハ踊講中	8月	静原/市原 野	2	北部花脊峠以南	16,224	2,544	6,492	31.5%
大原上野町おこない・お弓	大原上野町おこない・お弓保存会	1月	大原	2	北部花脊峠以南	50,602	604	2,112	57.9%
岩倉火祭	石座神社奉賛会	10月	岩倉北・岩 倉明徳・岩 倉南	3	中部北地域	14,018	11,200	28,375	25.5%
松ヶ崎妙法送り火	公益財団法人松ヶ崎立正会	8月	松ヶ崎	3	中部北地域	2,444	4,297	8,469	21.1%
松ヶ崎題目踊・さし踊	公益財団法人松ヶ崎立正会	8月	松ヶ崎	3	中部北地域	2,444	4,297	8,469	21.1%
上高野念仏供養踊	上高野念仏供養踊保存会	8月	上高野	3	中部北地域	2,429	3,018	7,017	25.5%
木野愛宕神社の烏帽子着	木野愛宕神社烏帽子着保存会	10月	岩倉北・岩 倉明徳・岩 倉南	3	中部北地域	14,018	11,200	28,375	25.5%
北白川高盛御供	北白川伝統文化保存会	10月	北白川	4	中部南地域	5,371	5,989	10,383	24.8%
鉄仙流白川踊	北白川伝統文化保存会	8月	北白川	4	中部南地域	5,371	5,989	10,383	24.8%
修学院大日踊・紅葉音頭	修学院紅葉音頭保存会	8月	修学院	4	中部南地域				
一乗寺鉄扇	一乗寺郷土芸能保存会	8月		4	中部南地域				
一乗寺八大神社の刺鉾差し	一乗寺八大神社刺鉾保存会	5月		4	中部南地域				
真如堂の十夜鉦	真如堂十夜鉦講	11月		5	南部地域				
吉田木瓜大明神の刺鉾差し	吉田刺鉾保存会	10月		5	南部地域				
大文字送り火	特定非営利活動法人大文字保存会	8月	広域						

参考：新型コロナウイルスへの対応（時系列）

2020年1月～8月

- 1月14日 WHO 新型コロナウイルスを確認
- 1月30日 WHO「国際的な緊急事態」を宣言
- 2月3日 乗客の感染が確認されたクルーズ船 横浜港に入港
- 2月13日 国内で初めて感染者死亡 神奈川県に住む 80代女性
- 2月27日 安倍首相（当時）全国すべての小中高校に臨時休校要請公表
- 3月24日 東京五輪・パラリンピック 1年程度延期に
- 3月29日 京都市内の大学でクラスター発生と発表 男子学生4人（→65人に拡大）
- 4月7日 7都府県に緊急事態宣言「人の接触最低7割極力8割減を」
- 4月9日 京都府内初の死者
- 4月16日 「緊急事態宣言」全国に拡大 13都道府県は 特定警戒都道府県に（京都府も含む）
- 4月20日 祇園祭 山鉦巡行の中止を発表（58年ぶり）
- 5月25日 緊急事態の解除宣言 約1か月半ぶりに全国で解除
- 5月28日 京都市自治会・町内会における活動について（新型コロナへの対応）
- 6月18日 京都市文化市民局「京の地蔵盆」ウィズコロナの実施を発表
- 6月27日 五山送り火 大幅に規模を縮小して開催することを発表
- 7月3日 新型インフルエンザ等対策有識者会議の下に分科会が設置
- 7月11日 時代祭（平安請宮・平安神社）中止発表
- 7月22日 「Go To トラベル」キャンペーン始まる
- 7月27日 鞍馬の火祭り（由岐神社）中止発表
- 8月11日 大文字山で無断点火騒動
- 8月15日 五山送り火規模を縮小して開催

出典：前田昌弘（2020）「新型コロナ禍における地蔵盆の開催状態に関する調査」
（於：京都府立大学「文化財活用と研究会」（2020年11月21日開催））報告資料を基に作成

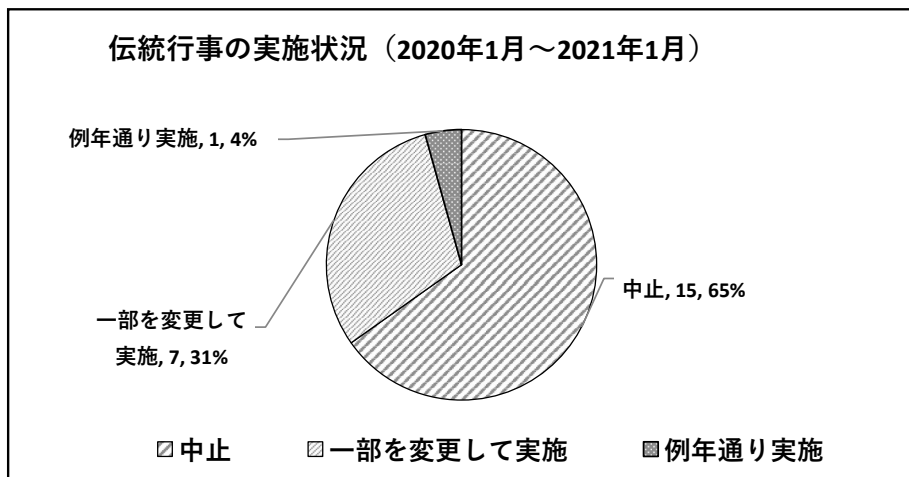
2 京都市左京区における伝統行事に関するアンケート調査結果報告

2-1 伝統行事の実施状況について

Q：2020年の伝統行事の実施（予定も含む）状況について

図表5は、伝統行事の実施状況である。「中止」が15件(65%)、「一部を変更し実施」が7件(31%)、「例年通り実施」が1件(4%)となっている。全体の65%が中止をしている。

図表5 伝統行事の実施状況



図表6は「中止」「一部を変更して実施」「例年通り実施」の保存会の内訳である。

図表6 伝統行事および保存会の内訳

「中止」(15件)

伝統行事	保存会等の名称
花脊松上げ	花脊松上げ保存会
広河原松上げ	広河原松上げ保存会
北白川高盛御供	北白川伝統文化保存会
鞍馬火祭	鞍馬火祭保存会
松ヶ崎題目踊・さし踊	公益財団法人松ヶ崎立正会
鉄仙流白川踊	北白川伝統文化保存会
修学院大日踊・紅葉音頭	修学院紅葉音頭保存会
八瀬赦免地踊	八瀬郷土文化保存会
久多宮の町松上げ	久多宮の町松上げ保存会
岩倉火祭	石座神社奉賛会
市原ハモハ踊・鉄扇	市原ハモハ尼講中
一乗寺鉄扇	一乗寺郷土芸能保存会
大原上野町おこない・お弓	大原上野町おこない・お弓保存会
真如堂の十夜鉦	真如堂十夜鉦講
吉田木瓜大明神の剣鉦差し	吉田剣鉦保存会

「一部を変更して実施」(7件)

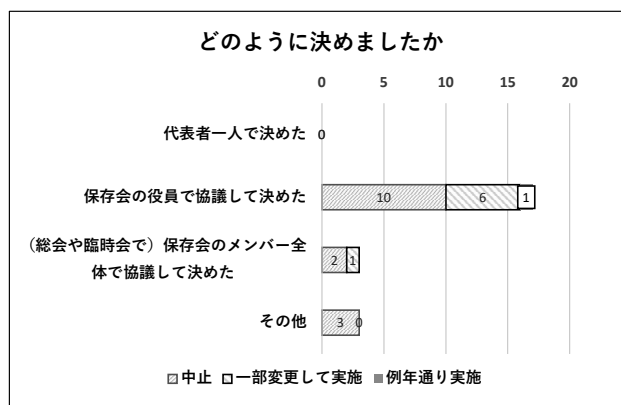
久多の花笠踊	久多花笠踊保存会
鞍馬竹伐り会	鞍馬山竹伐り会式保存会
大文字送り火	特定非営利活動法人大文字保存会
松ヶ崎妙法送り火	公益財団法人松ヶ崎立正会
一乗寺八大神社の剣鉦差し	一乗寺八大神社剣鉦保存会
上高野念仏供養踊	上高野念仏供養踊保存会
木野愛宕神社の烏帽子着	木野愛宕神社烏帽子着保存会

「例年通り実施」(1件)

久多山の神・お弓	久多の山の神・お弓保存会
----------	--------------

Q:「中止」「一部を変更して実施」「例年通り実施」は、どのように決めましたか。
 「どのように決めたのか」については、「保存会の役員で協議して決めた」が最も多く17件、「保存会のメンバー全体で協議して決めた」が3件、「その他」が3件となっている。
 決定については、保存会の役員で協議した様子が見える。

図表7 開催の判断は、どのように決めましたか



Q：決定までにかかった期間について教えてください。

決定までにかかった期間は、「1ヵ月」が最も多く8件、次いで「3ヵ月」が6件、2ヵ月が「4件」、1ヵ月以内が「3件」となっている。

図表8 決定までの期間

期間	件数	中止	一部実施
1ヵ月以内	3	岩倉火祭	久多の花笠踊
		大原上野町おこない・お弓	
1ヵ月	8	広河原松上げ・広河原ヤッサコサイ	鞍馬竹伐り会
		北白川高盛御供	一乗寺八大神社の剣鉾差し
		鉄仙流白川踊	木野愛宕神社の烏帽子着
		修学院大日踊・紅葉音頭	
		吉田木瓜大明神の剣鉾差し	
2ヵ月	4	花脊松上げ	松ヶ崎妙法送り火
		松ヶ崎題目踊・さし踊	上高野念仏供養踊
3ヵ月	6	鞍馬火祭	大文字送り火
		久多宮の町松上げ	
		市原ハモハ踊・鉄扇	
		一乗寺鉄扇	
		真如堂の十夜鉦	

(2件は未回答)

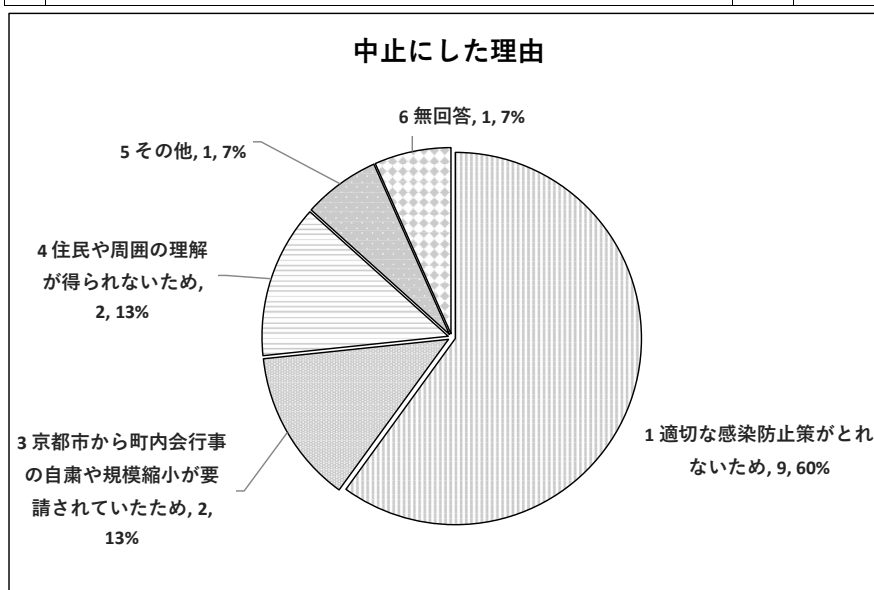
2-2 「中止」と回答した伝統行事の保存会（15件）に伺います。

Q：中止にした理由について、教えてください。

中止にした理由について、「適切な感染防止策がとれないため」が9件（60%）、「京都市から町内会の自粛や規模縮小が要請されていたため」が2件（13%）、「住民や周囲の理解が得られなかったため」2件（13%）、「その他」1件（1.7%）、「無回答1件」（1.7%）であった。

図表9 中止にした理由

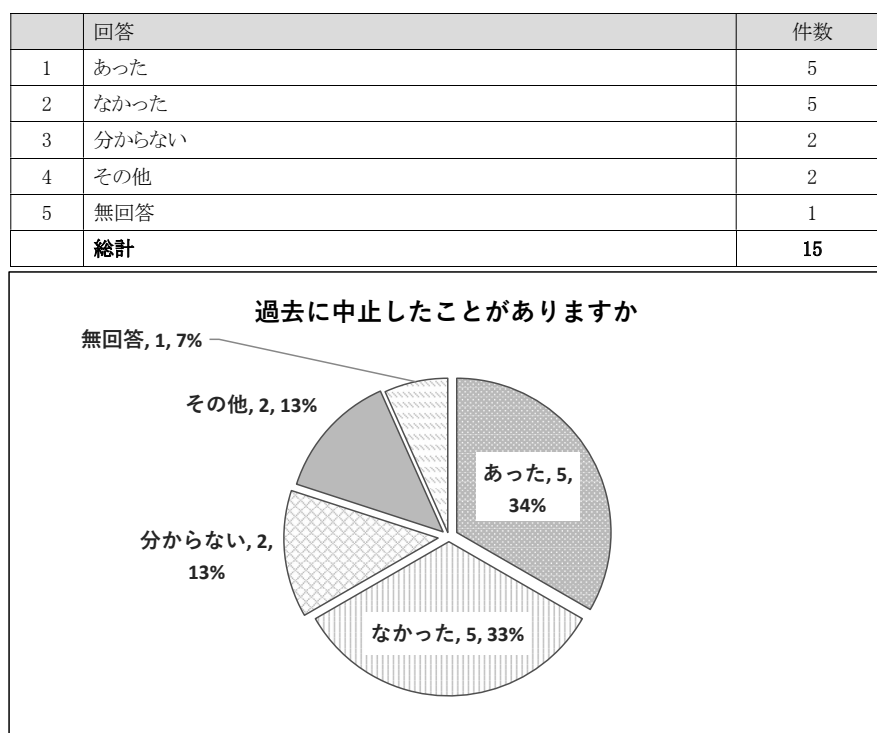
	中止にした理由	件数	割合
1	適切な感染防止策がとれないため	9	60.0%
2	緊急事態宣言が発令されていたため	0	0.0%
3	京都市から町内会行事の自粛や規模縮小が要請されていたため	2	13.3%
4	住民や周囲の理解が得られないため	2	13.3%
5	その他	1	6.7%
6	無回答	1	6.7%
	総計	15	



Q：過去に、伝統行事の「中止」を決定したことはありましたか。

過去に伝統行事の中止を決定したことがあったかについては、「あった」と「なかった」が各5件（34%）となっている。続いて、「分からない」が2件（13%）、「その他」が2件（13%）、「無回答」が1件（7%）であった。

図表 10 過去に中止をしたことがあるか



過去に中止した理由（自由記述）

1989年頃に、天皇の病気のために
令和元年に学校改修工事のため、同年に雨天台風のため
1989年に、昭和天皇崩御のために
R元年頃に、二日続きの雨天のために
雨で行列等の中止はあったが、全面はないと思う。戦時中等々、昔と云う過去は分からない。
昭和20年頃に、第二次大戦のために

Q: 中止の決定をするにあたり、悩んだこと、話し合ったことを教えてください（自由記述）。

中止の決定をするにあたり、悩んだこと、話し合ったこと（自由記述）

松上げに関わる作業の技術や踊り、歌などの後継者への伝承をどのように進めていくべきか。
例祭(神社で詞奏上と玉串奉奠)を宮司と禰宜及び火祭関係の各代表者で、どのような形や出席者に する等、話し合う。今後のこともあるので熟慮した。
妙法送り火と異なり、踊りは、室内(立正会館(公益財団法人松ヶ崎立正会事務所会議・行催事室)、松 ヶ崎小学校、涌泉寺本堂)での練習会や講習会を設営することにも留意する必要があると判断した。
特になしですぐ決定(役員会)
出演者はほとんどがその年令で参加するので難しい。
10月下旬行事のため、3月、4月から開催を検討する必要があった。大祭行事に参加する別保存会も あるので、代表者としては「開催する方向」で決めざるを得ない状況、また個人的にも開催せねばと思 っていた。期間もある為、練習、用具揃等々準備があり、怠ることは大祭が出来なくなり、中止の決定と 同じになる。他の団体の様子や情報を気にかけていたが、練習等々お願いした。そこで練習が発展で きる様な縮小パターンで提案していた。結局、7月末より会員等の中で、コロナ騒動の高まりもあり、強 い意見があつて、会全体で責任は取れない(感染)と会が判断した。何とか練習の成果だけでもと思っ たが中止決定。練習等の方々に迷惑させた。
こどもの集まる場として機能しつつあるため、現況としては適切でない話し合いの結果中止となった。
密を避けることができない
本来は、当保存会は、悪霊払い、えき病払いが役割であるのにそれがえき病の為、出来ないというの は非常に残念であった。

2-3 「一部を変更して実施」と回答した保存会（7件）の皆様に伺います。

Q：例年からの変更点を教えてください。

例年からの変更点について、「地域の信仰に深く関わる部分のみ実施」が5件、「無観客で実施」が1件、「その他」が1件となっている。

図表 11 例年からの変更点

1	地域の信仰に深く関わる部分のみ実施	5
2	無観客で実施	1
3	その他	1
	総計	7

「例年からの変更点」について具体的に教えてください。（自由記述）

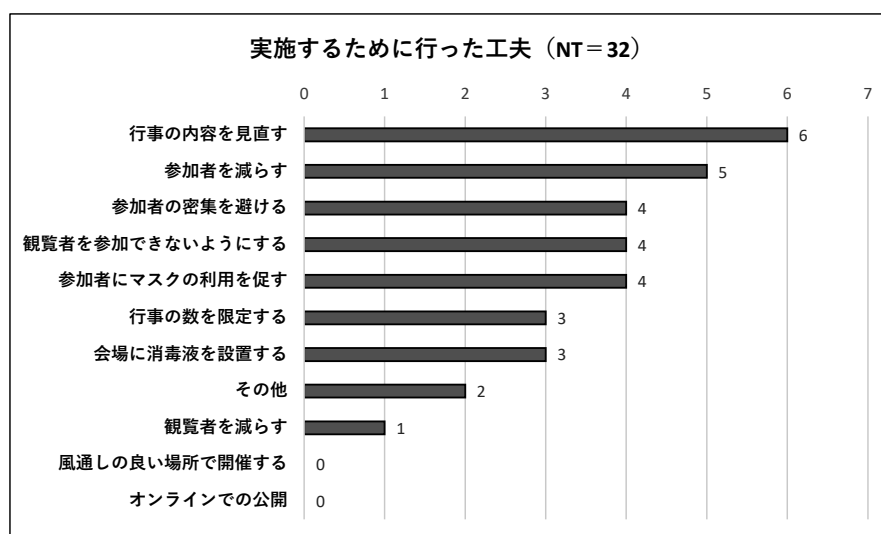
花笠踊の公開を中止。花笠奉納と神事(花笠奉納を5基とした)
竹を伐ることはせず、祈念のみ(最小人数で祈る)
妙法 各々中央部の一火床を点火。妙の火床数は103基、法は63基

Q：「一部を変更して」実施するために行った工夫について、教えてください（複数回答可）。

一部を変更して実施するために行った工夫について、「行事の内容を見直す」（6件）、「参加者を減らす」（5件）、「参加者の密集を避ける」「観覧者を参加できないようにする」「参加者にマスクの利用を促す」「会場に消毒液を設置する」（4件）、「行事の数を限定する」「その他」（2件）、観覧者を減らす（1件）となっている。

開催する場合も、行事の内容の簡素化、参加者や観覧者を減らすなどの「密」を避ける工夫をしている。

図表 12 実施するために行った工夫

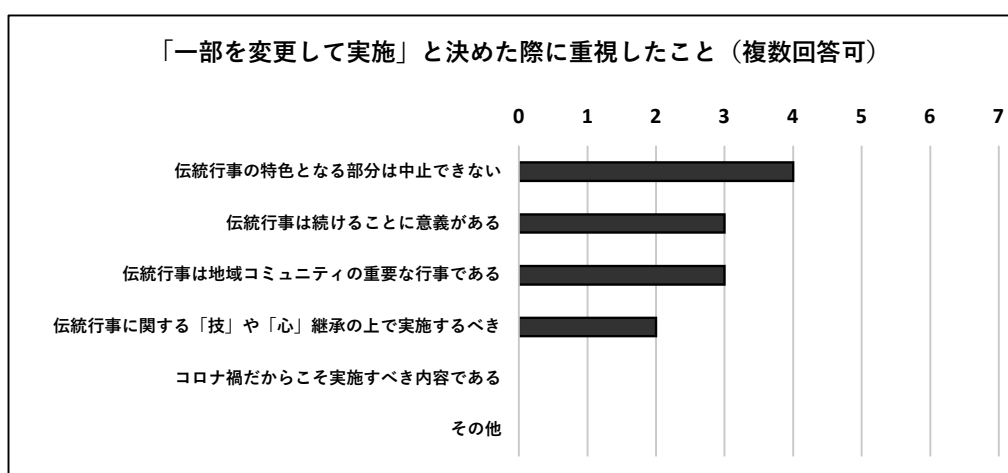


Q：一部を変更して実施することを決めた際に重視した点について、教えてください（複数回答可）。

一部を変更して実施することを決めた際に重視した点として、「伝統行事の特色となる部分は中止できない」が4件、「伝統行事に関する「技」や「心」の継承の上で実施するべき」が2件である。調査対象の7団体のうち、6団体が伝統行事の核となる部分（祈り、絆、供養など）で継承が必要である、と回答をしている。

また、「伝統行事は地域コミュニティの重要な行事である」の回答も3件あり、地域コミュニティとの関わりを意識している様子もうかがえる。

図表 13 「一部を変更して実施」することを決めた際に重視したこと



「伝統行事の特色となる部分は中止できない」と回答された方にお聞きします。「伝統行事の特色となる部分」の具体的な内容について、教えてください（自由記述）。

花笠踊りは地域住民のより所であり、絆の中心であり、続ける重要な行事である。
神仏への祈り
京都五山送り火連合会としての協議では各山の送り火の起源がことなります。大文字は足利義政公との係わりがあり、妙法は日蓮宗を誇示し真宗の教えを広めるなど様々な想いの中で山毎に灯したのが今年の送り火でした。
お盆の最終日に、ご先祖(お精霊さん)を冥土に送り火を以って、お送りすること。(意義の核心部分)
念佛供養踊りは、上高野地域で毎年ご逝去された方々の供養する踊りです。今年も四十三名の方々が御逝去されたのですが、供養踊りは絶対に中止できなかった。

Q：「一部を変更して実施」の決定をするにあたって、保存会で話し合ったこと、悩んだことがあれば教えてください（自由記述）。

「一部を変更して実施」の決定をするにあたって、保存会で話し合ったこと、悩んだこと

この日のために技をみがいたり、心がまえを日常から培っている若い会員の気もち、是非やりたいという思いをどう納得させるか

各山の起源と送り火を灯す目的と言いますか、思いがそれぞれありました。大文字保存会としても起源当初は足利義政公を悼み松明を月待山に灯されたのが明治以降に慈照寺の住人に受け継がれ、後に明治・大正・昭和の間大戦などで戦死された近隣住民を悼み盂蘭盆会に灯された行為が現在に至っており、近年では京都の歴史である市内の餓鬼を祇園祭りで呼び寄せ、神技に集まった餓鬼や盂蘭盆会に戻られた死者を冥府に送る足灯りは欠かせないと思いコロナ禍であっても灯す事にしました。

各保存会の独自性の維持。

- ・練習の日程、練習の実施、中止
- ・練習の参加人数、参加メンバーの把握
- ・コロナ感染者が発生した時の対応

会場は、無観客と決定後、法幢寺の本堂をお借りして、開催した。（例年は、宝幢寺の広場で開催）。

周辺地域の伝統行事の開催状況の情報を収集し、一部実施の決定の参考にした。又、感染予防と対策の検討。

2-4 伝統行事の現状と課題について（全保存会 23 件を対象）

Q：今回、伝統行事の開催の検討や判断をするにあたり、相談をした団体や関係者があれば、教えてください。

中止した保存会等

(社)八瀬童子会に相談しました。
久多自治振興会・久多里山協会
区役所、同行事参加もしくは協賛保存会会長、役員の一部、大学の中の大松明(岩倉の大学)が、指定を受けているが、大学の実施の検討の為、関係者の了解も受ける必要があった。
檀家寺(専光寺、静林寺)
中止となったのは①神幸祭 ②春の大祭 ③地域の夏祭り ①②は氏子請社の中止決定によるもの ③は夏祭り実行委員会の中止決定によるもの

一部を変更して実施した保存会等

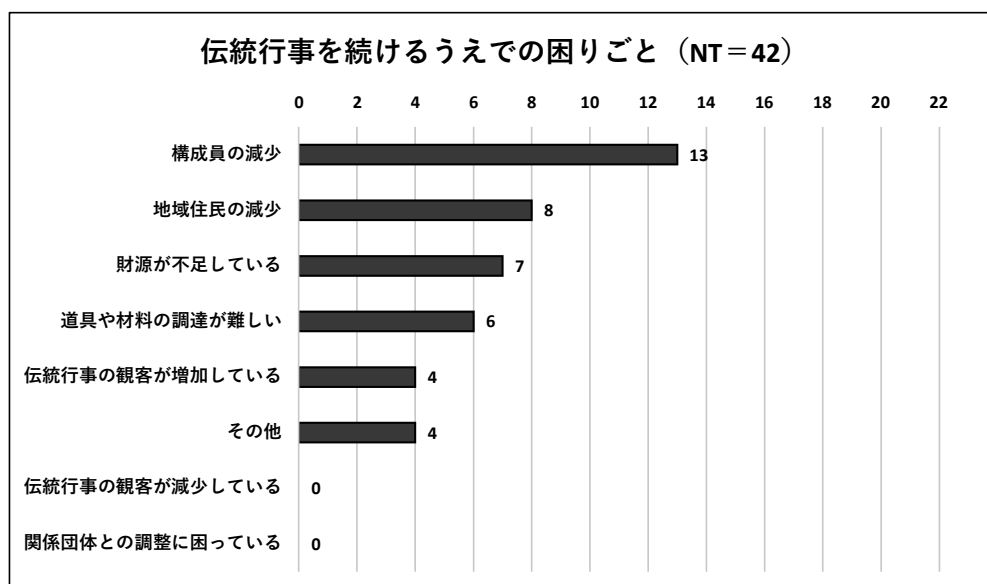
相談というより補助金をいただいている京都府や文化観光資源保護財団にはすぐに連絡した。
京都市、五山送り火協賛会
神社氏子会、神社宮司

Q：伝統行事を続けるうえでの困りごとについて、教えてください。(複数回答可)

「伝統行事を続けるうえでの困りごと」については、「構成員の減少」が最も多く13件である。回答した保存会の約半数(56%)を占めている。次いで「地域住民の減少」が8件(34%)、「財源が不足している」が7件(30%)、「道具や材料の調達が難しい」が6件(26%)、「観客の増加」が4件(17%)となっている。

「伝統行事の観客が不足している」「関係団体との調整に困っている」との回答はゼロであった。

図表 14 伝統行事を続けるうえでの困りごと



「その他」の内訳

コロナ禍が終息しないこと。
観客の増加と共に警備をこの先どうしていくのか。ガードマンの導入等を京都府警察より強く指導されている。資金の面で心配。
構成員は、勤務上から入会せず現構成員も任期を終えると卒業する。構成員が少なくなると任期の順も早く回り、結局、現構成員も少なくなる。

Q：伝統行事を続けるうえで工夫していることについて、教えてください（自由記述）。

伝統行事を続けるうえで工夫していることに関する自由記述について、15 団体から下記の記述があった。自由記述の内容が多岐にわたるため、①担い手の育成・技の継承（8 件）、②資材・原材料の確保（2 件）、③山の保全（1 件）、④その他 の4つに分類して、記している。

また、「工夫していること」の自由記述について、どんな単語がよく出てくるのかを確認するために、テキストマイニングソフト「KHCoder」を用いて、テキストマイニングを行った⁴。

サンプル数が少ないため調査としての精度には欠けるが、おおまかな傾向として、回答者の自由回答に出現する用語として、「練習・神社・日程」、「後継・継承・保存・育成」、「京都・木・調達・資材・伐採」の3つの群に分けられることが分かった（図表 15）。

① 担い手の育成・技の継承（8 件）

構成員の若手育成が急務 例年 4 月から第一日曜日に練習会と称して若手を中心に育成を考えている
受継者である若年者への技術、伝統の継承をどのように進めていくか。 なども若年者が参加しやすい時期を選んで実施している。
できるだけ続けられるよう、伝承の会を開いたりしている。また、資材の調達のため府・市や区の協力を 受けられるように関係を保持できるようにしている。
保存継承のための後継者の育成（太鼓、音頭、踊り）。
地域在住者に限らず、会員制にして、興味のある人には参加して頂いている。
行事のみの集会でなく、後の反省会、年末の忘年会等
募集のポスターの作成 ・地元住民に回覧(募集の)板を回す。 常に構成員が(特に若い方々に)声掛をしている。
構成員の減少をくい止める為に、練習や、道具の手入れなどを企画し、複数回、顔を合わせるようにし ている。又、グループラインを組んで、グループのコミュニケーションを図り、情報の共有化をしている。

② 資材・原材料の確保（2 件）

資材の赤松木などは遠方であっても林野庁や京都府・京都市有林に於いて伐採調達する事をお願い し安く払い下げて頂いている。また、小麦藁は貸農園においてボランティアの方々が 1 反(300 坪)程度 に作付けして頂き 7 月初旬に収めて頂いています。しかし、他力本願も何時までかと不安を在ります。
できるだけ続けられるよう、伝承の会を開いたりしている。また、資材の調達のため府・市や区の協力を 受けられるように関係を保持できるようにしている。

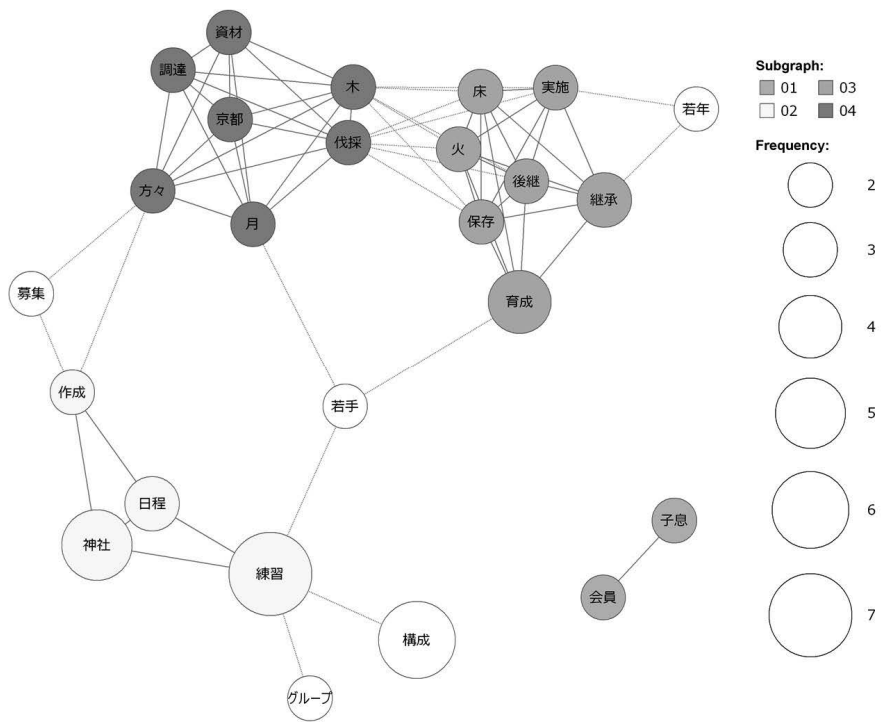
③ 山の保全（1 件）

1 保存継承のための妙法の山の保全、具体的には支障木の伐採、火床の修繕、山道の整備等のほ か、鹿の増加による低層植生(ツツジ等)の被害に起因する土砂の流出・落石や火床の倒壊への未然 防止策(遮断(防鹿)柵の設置等)の実施。
2 同様に、後継者の育成。

④ その他（4 件）

他の神社と日程調整をして、1 年間の 4 社(八大神社、大豊神社、粟田神社、神社)の合同の練習日程 一覧表を作成して、練習の日程や回数を把握して、練習に参加しやすくしている。練習の見学が自 由、一部練習の体験も可能
上記烏帽子対象者は結果、構成員の 15 歳の子息としていたが木野町自治会員の子息に拡大。このよ うに規約などの見直しなども行っている。
行事拘束の時短、袴・着物の着用をやめるなど参加しやすいよう簡略化
構成員の減少をくい止める為に、練習や、道具の手入れなどを企画し、複数回、顔を合わせるようにし ている。又、グループラインを組んで、グループのコミュニケーションを図り、情報の共有化をしている。

図表 15 「工夫していること」の自由記述のテキストマイニング



Q：伝統行事の今後について

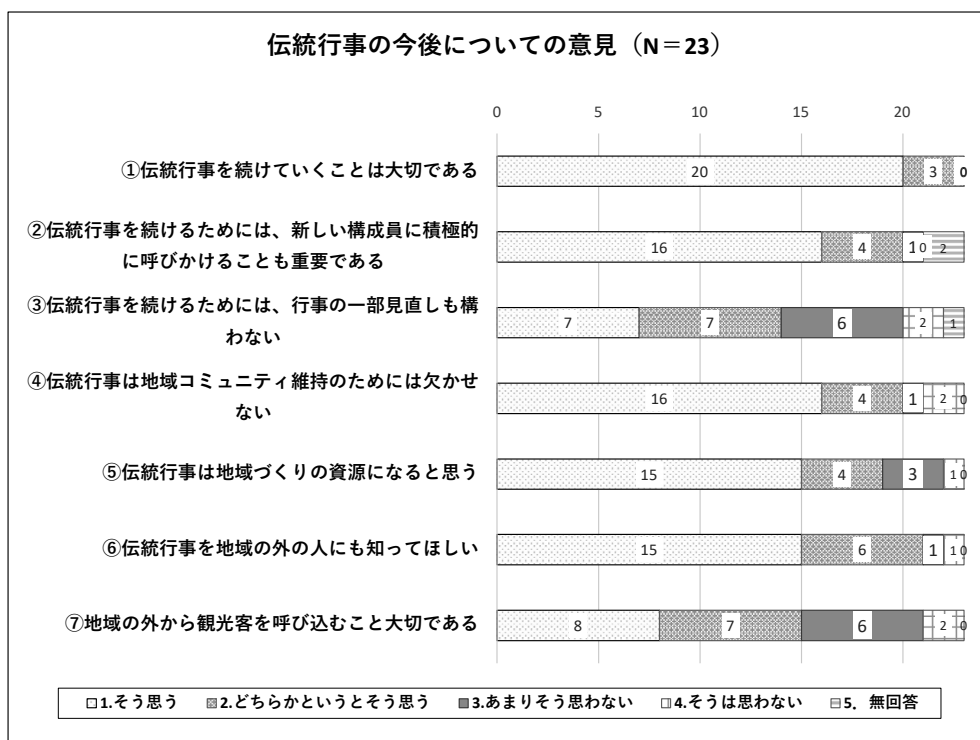
図表 16 は伝統行事の今後についての意見である。まず、「1. そう思う」が最も多かった項目として、「①伝統行事を続けていくことは大切である」(20 件)、続いて、「②新しい構成員に積極的に呼びかけることも重要である」「④地域コミュニティの維持のためには欠かせない」(16 件)、「⑤地域づくりの資源になると思う」「⑥地域の外の人にも知ってほしい」(15 件)となっている。

また、4つの選択肢を「1. そう思う」および「2. どちらかというと思う」と、「3. どちらと言うとそう思わない」および「4. そう思わない」の2つに分けて考察した。

その結果、「1. そう思う」および「2. どちらかというと思う」を足した割合が高い順に、「①伝統行事を続けていくことは大切である」(23 件)、「⑥伝統行事を地域の外の人にも知ってほしい」(21 件)、「②新しい構成員に積極的に呼びかけることも重要である」(20 件)、「④地域コミュニティの維持のためには欠かせない」(20 件)、「⑤地域づくりの資源になると思う」(19 件)となっている。

一方、「3. どちらと言うとそう思わない」および「4. そう思わない」を足した割合が比較的高い項目として、「⑦地域の外から観光客を呼び込むことは大切である」と「③伝統行事を続けるためには行事の一部見直しも構わない」があげられる。地域の外からの観光客の呼び込みや、行事の一部見直しについては、保存会によって意見が異なることが分かる。

図表 16 伝統行事の今後についての意見



2-5 保存会の概要について、教えてください（回答件数：23件）。

Q：伝統行事の参加者数および閲覧者数

- ・伝統行事の参加者（担い手）人数では、「100人～500人未満」が最も多く7件、次いで「50人～100人未満」が6件、「1人～50人未満」が4件となっている。
- ・閲覧者（見学者）人数では、「500人～1000人未満」が最も多く7件、次いで「100人～500人未満」が6件、「1000人以上」が4件、「50人～1000人未満」が3件となっている。閲覧者（見学者）の人数の分布も幅があることがわかる。

図表 17 参加者数および閲覧者数

件数 人数	参加者(件数)	閲覧者(件数)
1人～50人未満	4	0
50人～100人未満	6	3
100人～500人未満	7	6
500人～1000人未満	0	7
1000人以上	0	4
未回答	6	3
総計	23	23

Q：伝統行事の役員および構成員の人数

- ・伝統行事の役員人数では、「10人～50人未満」が最も多く10件、次いで「1人～50人未満」が8件、「10人～50人未満」が9件となっている。
- ・構成員の人数では、「10人～50人未満」が最も多く9件、次いで「50人～100人未満」が5件、「100人～300人未満」及び「300人以上」が2件となっている。

図表 18 役員数および構成員数

件数 人数	役員(件数)	構成員(件数)
1～10人未満	8	0
10人～50人未満	10	9
50人～100人未満	2	5
100人～300人未満	0	2
300人以上	0	2
未回答	3	5
総計	23	23

Q：伝統行事の役員および構成員に占める男性の割合

- 伝統行事の「役員に占める」男性の割合について、男性が「100%」を占める保存会は 14 件、「80～90%」が 3 件となっている。一方で、役員に占める男性の割合が「20～30%」を占める保存会も、3 件となっている。
- 伝統行事の「構成員に占める」男性の割合では、男性が「100%」を占める保存会は 6 件、「80～90%」が 5 件、「60～70%」が 4 件となっている。役員および構成員における男性比率を比較すると、役員の方が男性の割合が高い。
- 役員および構成員がすべて男性で構成される保存会は 6 件である。

図表 19 役員および構成員数に占める男性の割合

件数 男性の比率	役員に占める男性の割合	構成員に占める男性の割合
100%	14	6
80～90%	3	5
60～70%	0	4
40～50%	0	1
20～30%	3	1
0～10%	0	1
未回答	3	4
計	23	23

Q：役員の呼称・決め方・任期について

保存会等の役員について、2名を上限に、呼称・決め方・任期について聞いたところ、下記の回答があった。

図表 20 役員（1）

呼称（呼び方）

1	会長	20
2	理事長	2
3	代表	1
計		23

決め方

1	指名・推薦	15
2	宛職(具体的に「久多自治振興会」、「鞍馬寺貫主」)	2
3	選挙	2
4	その他	3
計		23

任期

1	任期制	15	2年:9件 3年:6件
2	任期なし	6	
3	分からない	1	
4	その他	1	
計		23	

図表 21 役員（2）

呼称（呼び方）

1	副会長・常務理事・理事・実行委員・本部（三役）・庶務会計・総務、実行役委	14
2	その他	9
計		23

決め方

1	指名・推薦	14
2	宛職	1
3	選挙	1
4	その他	5
計		23

任期

1	任期制	13	2年9件 3年6件
2	任期なし	6	
3	分からない	1	
4	その他	1	
5		2	
計		23	

Q：構成員の居住地と内訳

構成員の居住地では、「ほぼ地域に住む住民である」が最も多く 15 件、次いで、「地域に住む住民に加えて、地域の外に住む住民（構成員の家族、関係者）」が 7 件、「関係者以外の住民」が 1 件となっている。

図表 22 構成員の居住地と内訳

1	ほぼ地域に住む住民である	15
2	地域に住む住民に加えて、地域の外に住む住民(保存会やその家族、関係者)も、参加している (1+2)	7
3	地域に住む住民と、地域の外に住む住民(保存会やその家族、関係者)に加えて「関係者」以外(大学生など)の住民も、参加している (1+2+3)	1
4	分からない	0
計		23

Q：構成員の主な居住範囲

構成員の主な居住範囲については、「町内」が 8 件と最も多く、続いて、「京都市全体」が 6 件、「小学校区内」が 5 件となっている。

図表 23 構成員の主な居住範囲

1	町内	8
2	小学校区内	5
3	左京区内	2
4	京都市全体	6
5	その他 ()	2
計		23

3 資料（アンケート調査票）

**京都市左京区でのコロナ禍における伝統行事への影響
に関する調査票**

1 今年度の貴保存会の伝統行事の実施（予定も含む）状況について、お聞きします。貴保存会の伝統行事は、次のうち、どのような状況ですか（〇はひとつのみ）。

1. 中止 → 下記質問2（1～2頁）、6～10頁へ
2. 一部を変更して実施 → 3～4頁、6～10頁へ
3. 例年通り実施 → 5～10頁へ

2 **1で、「中止」と回答された方は、次の質問にお答えください。**

2.1 その理由を教えてください。

1. (国や京都府・京都市が示している)適切な感染防止対策がとれない(とれなかった)ため
2. 緊急事態宣言が発令されていたため
3. (緊急事態宣言発令下で)市から町内会行事の自粛や規模縮小が要請されていたため
4. 住民や周囲の理解が得られなかったため
5. その他 ()

2.2 「中止」の検討をはじめた時期と決定した時期について、教えてください。

中止を検討はじめた時期 _____ 月頃
決定した時期 _____ 月頃

2.3 「中止」の決定は、どのように決めましたか。

1. 代表者一人で決めた
2. 保存会の役員で協議して決めた
3. (総会・臨時会などを開催して)保存会のメンバー全体で協議して決めた
4. その他 ()

1

2.4 「中止」の決定をするにあたり、相談をした団体や関係者があれば、教えてください（自由記述）。

2.5 「中止」の決定をするにあたって、保存会で話し合ったこと、悩んだことがあれば教えてください。

2.6 貴保存会として、過去に、伝統行事の「中止」を決定したことはありましたか（〇はひとつのみ）。

1. あった _____年頃に、_____のために
2. なかった
3. 分からない
4. その他 ()

2

3. **1で、「一部を変更して実施」と回答された方は、次の質問にお答えください。**

3.1 例年からの変更点を具体的に教えてください（〇はいくつでも）。

コロナ禍への具体的な対応については次の質問（3.2）でお答えください

1. 地域の信仰に深く関わる部分のみ実施
2. 無観客で実施
3. その他

3.2 コロナ禍への対応として、「一部を実施」するために行った工夫について、教えてください（〇はいくつでも）。

1. 行事の数を限定する（日数を減らす、繰り返す行事で回数を減らす等）
2. 行事の内容を見直す（簡素化や省略、場所を変える等）
3. 参加者（地域内の保存会および関係者、来賓等）を減らす
4. 参加者（地域内の保存会および関係者、来賓等）の密集を避ける
5. 観覧者（地域外の観光客等）を減らす
6. 観覧者（地域外の観光客等）を参加できないようにする
7. 風通しの良い場所で開催する
8. 参加者にマスクの利用を促す
9. 会場に消毒液を設置する
10. オンラインでの公開
11. その他 ()

3.3 「一部を変更して実施」することを検討はじめた時期と決定した時期について教えてください。

・ 検討はじめた時期 _____ 月頃
・ 決定した時期 _____ 月頃

3.4 「一部を変更して実施」の決定は、どのように決めましたか（〇はひとつのみ）。

1. 代表者一人で決めた
2. 保存会の役員が協議して決めた
3. (総会・臨時会などを開催して)保存会メンバー全体で協議して決めた
4. その他 ()

3

3.5 「一部を変更して実施」と決定した際に重視した点について、教えてください（〇はいくつでも）。

1. 伝統行事は続けることに意義がある
2. 伝統行事に関する「技」や「心」継承の上で実施すべき
3. 伝統行事は地域のコミュニティの重要な行事である
4. コロナ禍だからこそ実施すべき内容である
5. 伝統行事の特色となる部分は中止できない
→伝統行事の特色となる部分についての考えを教えてください

6. その他 ()

3.6 「一部を変更して実施」と決定するにあたり、相談をした団体や関係者があれば、教えてください。

3.7 「一部を変更して実施」の決定をするにあたって、保存会で話し合ったこと、悩んだことがあれば教えてください。

4

4. 「例年通り実施」と回答した方は、下記の質問にお答えください。

- 4.1 「例年通り実施」することを検討しはじめた時期と決定した時期について、教えてください。
- ・ 検討しはじめた時期 _____ 月頃
 - ・ 決定した時期 _____ 月頃
- 4.2 「例年通り実施」の決定は、どのように決めましたか（〇はひとつのみ）。
1. 代表者一人で決めた
 2. 保存会の役員が協議して決めた
 3. (総会・臨時会などを開催して)保存会メンバー全体で協議して決めた
 4. その他()
- 4.3 「例年通り実施」と決定した際に重視した点について、教えてください（〇はいくつでも）。
1. 伝統行事は続けることに意義がある
 2. 伝統行事に関する「技」や「心」の継承の上で実施すべき
 3. 伝統行事は地域のコミュニティの重要な行事である
 4. コロナ禍だからこそ実施すべき内容である
 5. 伝統行事の特色となる部分は中止できない
→伝統行事の特色となる部分についての考えを教えてください

 6. その他()
- 4.4 「例年通り実施」と決定するにあたり、相談をした団体や関係者があれば、教えてください。

- 4.5 「例年通り実施」の決定をするにあたって、保存会で話し合ったこと、悩んだことがあれば教えてください。

5

5. 「すべての保存会」の方は、下記の質問にお答えください。

- 5.1 来年度（2021年度）の伝統行事の開催予定について教えてください（〇はひとつのみ）。
1. 例年通りの内容で実施する方向で検討中
 2. 一部を変更して実施する方向で検討中
 3. 中止する方向で検討中
 4. 未定
- 5.2 伝統行事を続けるうえで「困りごと」について、教えてください。
困っていることについて〇(〇はいくつでも)、最も困っていることについて①をひとつだけ付けてください。
1. 構成員の減少
 2. 地域住民の減少
 3. 道具や材料の調達が難しい(具体的に:)
 4. 財源が不足している(具体的に:)
 5. 伝統行事の観客が増加している
 6. 伝統行事の観客が減少している
 7. 関係団体との調整に困っている(具体的に:)
 8. その他
- 5.3 伝統行事を続けるうえで「工夫」していることについて、教えてください。

6

5.4 伝統行事の今後について、意見を教えてください。

「そう思う」、「どちらかというそう思う」、「あまりそう思わない」、「そうは思わない」の欄のいずれかに〇を付けてください。

	そう思う	どちらかというそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない
1 伝統行事を続けていくことは大切である				
2 伝統行事を続けるためには、新しい構成員に積極的に呼びかけることも重要である				
3 伝統行事を続けるためには、行事の一部見直しも構わない				
4 伝統行事は地域コミュニティ維持のためには欠かせない				
5 伝統行事は地域づくりの資源になると思う				
6 伝統行事を地域の外の人にも知ってほしい				
7 地域の外から観光客を呼び込むことは大切である				

7

5.5 貴保存会の概要について教えてください。

伝統行事の名称			
保存会名称			
伝統行事の参加者数 (地域の内の保存会関係者や来賓など)	約 _____ 名		
伝統行事の観覧者数 (地域の外からの観光客など)	約 _____ 名		
役員	保存会役員数	_____ 名 (うち男性の人数 _____ 名)	
	会長	決め方	1. 指名・推薦 () 2. あて職(具体的な職名:) 3. 選挙 4. その他()
		任期	1. 任期制 (_____ 年) 2. 任期なし 3. 分からない 4. その他()
	実務担当者	決め方	1. 指名・推薦 () 2. あて職(具体的な職名:) 3. 選挙 4. その他()
		任期	1. 任期制 (_____ 年) 2. 任期なし 3. 分からない 4. その他()
	書記	決め方	1. 指名・推薦 () 2. あて職(具体的な職名:) 3. 選挙 4. その他()
		任期	1. 任期制 (_____ 年) 2. 任期なし 3. 分からない 4. その他()

8

構成員	保存会の構成人数	約 名 (うち、男性のおおよその人数)
	構成員の内訳 ※いちばん多い、いずれかに○ (○はひとつ)	1. ほぼ地域に住む住民である 2. 地域に住む住民に加えて、地域の外に住む住民(保存会やその家族、関係者)も、参加している (1+2) 3. 地域に住む住民と、地域の外に住む住民(保存会やその家族、関係者)に加えて (1+2+3)、「関係者」以外(大学生など)の住民も、参加している 4. 分からない () 6. その他 ()
	構成員の主な居住地域 ※いづれかに○	1. 町内 2. 小学校区内 3. 左京区内 4. 京都市全体 5. その他 ()
	最も遠い地域から参加する構成員の居住地	

5.6 下記について、記入ください。

回答者お名前(ふりがな)

保存会での役職

連絡先(住所) 〒

電話 (電話対応可能な時間)

E-mail (パソコン) Mail (携帯)

保存会ホームページアドレス

今後、インタビューに応じていただけるかどうか(いづれかに○をつけてください)

- ・ 協力します
- ・ 協力できません

※保存会連絡先などの個人情報については、本調査以外では使用いたしません。

自由記述欄 (各項目でスペースが足りない場合は下記に記入ください)

※ 保存会の概要が分かる資料があれば、添付ください。

※ パソコンでの調査票の記入を希望される方は、メールにて問い合わせください。調査票をメールで送付します。

問合せ先：鈴木 睦子 (京都地域未来創造センター KIRP)

e-mail: a-suzuki@kpa.ac.jp

ご協力、ありがとうございました

文末脚注

- ¹ 京都ふるさと伝統行事普及啓発委員会 (2019) 『京都の祭り・行事—ふるさとの伝統行事を訪ねる』。
- ² 広河原松上げ保存会から、広河原ヤッサコサイは広河原松上げの一環として行っており、同一の回答としたいとの回答があったため。「広河原松上げ (広河原松上げ保存会)」と「広河原ヤッサコサイ (広河原郷土芸能保存会)」は1件としてカウントする。
- ³ 京都市左京区役所「左京伝統行事ガイド おつぎのまつり」(デジタル版) <https://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/page/0000246785.html>
- ⁴ 個々人のコメント間の共通性をネットワーク図にして示す方法で、単語が共通に出現する関係(共起関係)を円と線で表示した図で、共起ネットワークと呼ばれる。ただ、本サンプル数が少なく、それぞれのつながりの強弱までは読み取ることは難しく、本結果は参考として参照いただきたい。